

大長見ダム（周布川水系周布川）の洪水調節効果

7月17日から19日にかけて、梅雨前線が島根県付近で停滞した影響で、周布川上流域では降り始めからの総雨量が225mmに達し、各地で土砂崩れ、道路損壊等の被害を受けました。大長見ダムでは、洪水調節により最大225m³/sの洪水に対し88m³/sの流量をカットし、ダムがない場合に比べ中場地点において約31cm水位を下げ、下流の水位上昇を防ぎました。

